

名古屋が生んだ伝説の画工
市ノ木慶治
没後50年 特別作品展

皆さんは、名古屋が生んだ伝説の画工、「市ノ木慶治(しのきけいじ)」をご存知でしょうか？

森村組(現リタケカンパニー)を代表する、陶磁器に絵付けをする職人であり、その技術の高さは海外でも高く評価され、彼が手がけた作品から、「薔薇の市ノ木」と呼ばれていました。

千種図書館では、今年、市ノ木慶治氏が没後50年となることから、彼の功績を作品を通して知っていただきたく、特別作品展を行いますので、ぜひご覧ください。

- 1 期間 令和元年10月31日(木)~11月27日(水)
- 2 会場 名古屋市千種図書館 1階展示コーナー
- 3 内容 市ノ木慶治氏のご自宅に保管されていた



作品の展示(未公開作品含む)

※展示協力 市野木晴美氏

市ノ木慶治/しのきけいじ(1891-1969)

陶磁器上絵付け職人、画家

1891年 名古屋市東区に生まれる

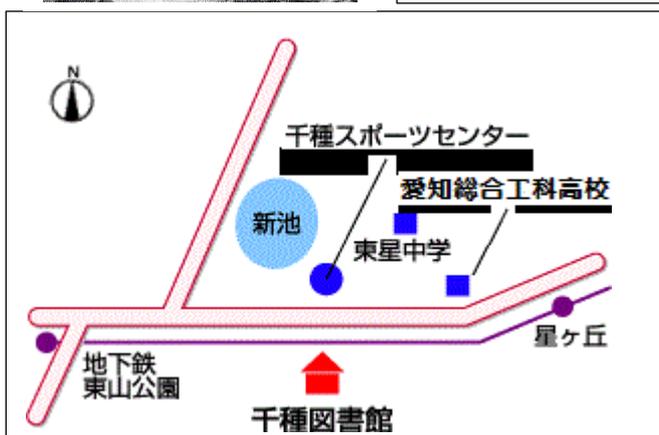
1905年 森村組絵付工場入社

1908年 森村組「画工」になる

1928年 帝展(現日展)初入選

1964年 功労者表彰受賞

1969年 没する(78歳)



名古屋市千種図書館 Tel (052)781-7431

千種区田代町字瓶入 1-137

・地下鉄なら…東山線「東山公園」から東へ約500m、
「星ヶ丘」から西へ約500m

・お車なら… 駐車場(14台収容)が利用できます。
※台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関等をご利用ください。